

■ 地域探究Ⅰ・Ⅱで「SDGs」について学びました。

地域探究Ⅰ・Ⅱでは、今年度も昨年度と同様に①歴史・伝統、②観光・産業、③環境・自然、④安全・防災、⑤文化・文芸、⑥保育・福祉の6つのコースに分かれ、各コース十数人程度の少人数で活動していきます。

各コースでの探究活動を始めるに当たって、4月22日(木)に下関南高校から蒼下和敬先生をお招きし、各コースの共通のテーマとする「SDGs(持続可能な開発目標)」について、講義とワークショップを実施していただきました。

講義では、高校生の自分たちが普段行っている活動が、「誰ひとり取り残さない」をキーワードとした「SDGs」の達成につながっていくことを教えていただきました。講義を踏まえたワークショップでは、2・3年生混合の8、9人グループで、これまでに本校で取り組んできた学びや活動を振り返り、それらが17項目ある「SDGs」の目標のどの目標と関連があるのか、蒼下先生が作成された「目標シール」を使用して整理しました。そして、振り返りをもとに、これからどのような活動ができるか考え、ポスターにまとめ、ポスターセッションを行いました。他のグループのポスターを見ることで、自分では気づかなかった活動や活動の整理の仕方などに気がきました。

5月下旬から、各コースに分かれてテーマを設定し、グループ学習やフィールドワークを通して、地域の課題を体験的に理解するとともに、課題解決に向けた方策について探究していきますが、蒼下先生がおっしゃったように「SDGs」の項目の何番に貢献しているのかという意識をもって、第一歩を踏み出してほしいと考えています。



■ 進路講話・面接ガイダンスを実施しました。

4月27日(火)7時限に、大原簿記公務員専門学校から森正登(まさと)先生をお招きし、3年生を対象に面接ガイダンスを体育館で実施しました。

ガイダンスでは、最近の進学や就職時における面接事項やマナーに関する基礎的内容について御説明いただきました。面接の方法が質問形式から対話形式に変化してきており、コミュニケーション能力がより求められることや、人が受ける印象の割合は、見た目からの印象が55%、声からの印象は38%、話の内容からの印象は7%というメラビアンの法則などについて、貴重なお話を伺いました。

そして、面接の決め手は最初の3分、第一印象が大切なことを確認し、高校生として相応しい立ち振る舞いについて御指導いただきました。生徒たちは本番の面接をイメージしながら、真剣な表情で立ち振る舞いの練習に取り組んでいました。



■ P T A 総会・情報モラル研修会を実施しました。

1 学期中間考査期間中の日曜日、5月16日にP T A・教育後援会総会を開催しました。本校では、少しでも多くの保護者の方に参加していただけるよう、例年、日曜日にP T A・教育後援会総会を開催しています。新型コロナウイルス感染症対策を保護者の方にもご協力いただき実施しました。総会では、令和2年度のP T A関連事業の報告、会計決算の報告及び監査報告が行われた後、令和3年度のP T A役員案として、会長：小山秀紀様、副会長：小畔利幸様、渡邊佳祐様、監査：永富敬吾様、宗村元彦様の案が提出され、承認されました。

また、令和3年度の事業計画、P T A会計、教育後援会会計、特別活動振興金の予算案が承認されるとともに、学校の近況報告を行いました。

その後、例年であれば、生徒と保護者が一緒に情報モラル研修会を行いますが、感染症対策として生徒、保護者別日での実施となりました。

5月13日(木)に生徒対象研修会を実施し、テーマは、「子どもたちをネットトラブルから守るために」。講師は、KDDIの大浦秀人先生でした。

また、P T A・教育後援会総会后に保護者対象研修会を実施し、テーマは、「スマホで将来が一変するーネット依存や違法動画投稿はなぜ起きたかー」。講師は、東亜大学の保田裕彦先生でした。

お二人のご講演に共通するのは、インターネット上に一端公開された情報は容易には回収されないこと、不用意な投稿がその後の人生を左右しかねないことなどを、いくつかの動画を紹介され、分かりやすくお話いただきました。

生徒はもちろんのこと、保護者や教員にとっても、普段のインターネットやスマホとの関わり方を見直すよい機会となりました。大浦先生、保田先生、貴重なお話をありがとうございました。



■ 車いす体験を実施しました。

5月25日(火)5・6時限に、2年生の「生活と福祉」の授業で車いす体験を実施しました。

最初に車いすの名称や使用方法を学習し、その後、車いすの移乗・移動の介護に関する動画をみながら、介助される側と介助する側のお互いの立場に立った車いす体験を行いました。車いすの移動では、①車いすの使用前の点検②利用者の状態の確認③安全なルート選択④押すときは必ず声をかける⑤段差、坂道では止まり声をかける⑥スピードはちょうどよいか確認する⑦会話をしながら楽しい雰囲気をつくれるの7つの注意点に気をつけながら体験実習を行いました。



初めて車いす体験をする生徒が多く、実習を終えた感想では「思っていた以上に車いすを動かすには力が必要だと分かりました。」「段差を上がる時に車いすに乗っている人は思っていたよりもびっくりするので慎重にしないといけないと思いました。」「車いすを押すときは笑顔がぎこちなく、声かけでは何をしゃべったらいいか分からずとても大変でした。」「小さいときに祖父母が乗っている車いすを押すのを手伝っていっしょに散歩した経験はありましたが、正しい使い方が分かっていなかったため、今回の実習で学べてよかったです。」などがありました。

車いす体験を通して、障害のある人や介助する人の置かれている状況について理解するとともに、バリアフリー社会の実現に向けて大切なことは何かを考える実習となりました。



■ 県高校総体壮行式を実施しました。

5月27日(木)、県高校総体に出場するバレーボール部・テニス部・ソフトテニス部・サッカー部・陸上競技部、相撲部の壮行式が行われました。

初めに各部の部長から各大会の概要と抱負が述べられ、校長先生、生徒会長の藤中君から激励の言葉が贈られました。その後、応援団の指揮で校歌を熱唱し、選手を激励しました。

昨年の高校総体は、新型コロナウイルス感染症の影響で、中止となりました。下関北高校の名前で出場する初めての県高校総体となります。昨年度の3年生の思いとともに、各部とも全力を出し切って、悔いのない大会にしてほしいと思います。

